

## ○ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

【松の葉会（有田町）】代表者：立部 澄子

松の葉会は、前代表が町内の駅や、駅周辺の清掃、役場の花植えなどのボランティア活動をされる中、もっと地域貢献をしたいとの思いで昭和 59 年に設立された団体です。

当団体は、高齢者福祉施設への訪問を 36 年にわたり継続されており、今もなお活発的に活動されています。町内の高齢者福祉施設では、訪問活動が月の恒例行事となっており、当団体の民舞を心待ちにされています。毎月訪問している施設以外の施設からも、花まつりや夏祭り、敬老会等での民舞の依頼があれば訪問され、大変喜ばれています。このように、民舞を通して、高齢者の方々とふれあい、元気づける活動を継続され、高齢者福祉に寄与されていることは、他の団体の模範となる団体です。

活動は 39 年の長きにわたっています。

【佐賀県立多久高等学校（多久市）】校長：大島 安博

多久高等学校は、昭和 48 年度にボランティア活動協力校の指定を受け地域に根ざしたボランティア活動に取り組んでいます。多久市ボランティア連絡協議会にも加入し、一般のボランティアと共に高校生ボランティアとして市内のボランティア活動に参加しています。

JRC（青少年赤十字ボランティア部）のメンバーを中心に、最寄駅や学校周辺の清掃・美化活動に加え、募金活動や地域のイベントにもボランティアとして参加しています。また、コロナ禍以前は市内の高齢者福祉施設を訪問し清掃やレクリエーションを行う他、市内の幼稚園を訪問し絵本の読み聞かせを行う活動も行っており、積極的に地域と交流をもち活動されてきました。これらについては、コロナの影響が落ち着き次第再開する意向とのことでした。

こうした活動を通して、ボランティアに関する関心や理解を広げる学校として期待されます。

活動は 50 年の長きにわたっています。